

令和6年度 第5学年授業改善推進プラン

台東区立田原小学校

1 児童の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none">・当該学年までの漢字の読み書き、また、漢字を文や文章の中で活用し、表現すること。・物語文の心情の変化や説明文の段落相互の関係を捉え、内容を読み取ること。・決められた長さで論理的な文章を書くこと。・身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすること。
社会	<ul style="list-style-type: none">・自ら課題を設定し、知識を活用して解決すること。・資料を読み取ること。・社会的事象の様子や社会的事象の特色や意味などを理解すること。
算数	<ul style="list-style-type: none">・当該学年までの知識・技能を身に付けること。・小数や分数のしくみの理解と計算の定着・自分の考えを式や図を用いて表現すること。
理科	<ul style="list-style-type: none">・自ら課題設定し、解決方法を考え、知識や生活経験を活用し、課題を解決すること。・観察・実験を目的に応じて器具を選択し、正しく扱いながら調べ、結果を適切に処理すること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句を目的に応じ、文章の中で表現する力 ・物語の人物の相互関係や心情を、表現の効果や描写を基に捉える力 ・目的や意図に応じて書くことを選び、段落相互の関係を捉え、伝えたいことを決められた字数で明確に書く力 ・語彙力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書や事典を利用して漢字や語句を調べる活動を積極的に取り入れる。ICTドリルを使い、「ことば」のきまりに関することを繰り返し取り組ませる。 ・叙述をもとに読み取ることを基本に、様々な言語活動や読み取る手法を経験させる。 ・小論文の書き方の手引きを活用し、書く材料の集め方、小論文の型の提示、原稿用紙の書き方の定着を図る。 ・要旨や考えたことをまとめる際に、字数意識できるマス目プリントや1人1台端末を使用して書かせる。 ・朝読書や図書の間では、本の紹介をし、いろいろな分野の本に触れ、視野を広げさせる。教科書の巻末の「伝え合うための言葉」「学習に用いる言葉」「言葉の宝箱」などを意図的・日常的に扱う。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を設定し、主体的に解決する力 ・写真や地図、統計等の資料を読み取る力 ・基礎的な知識の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入時の教材提示を工夫し、主体的に学習問題、学習計画を立てさせる。 ・1人1台端末に児童が問いを見出しやすい資料を提示し、ペアやグループで共有したり、全体で共有したりする活動を取り入れる。 ・資料集や地図帳を活用する機会を増やし、様々な索引方法を身に付けさせる。 ・資料の読むときの視点を提示し、一斉指導や個別指導で身に付くまで繰り返し指導する。 ・児童自ら知識定着のために必要なプリントを選択し、取り組ませることで、定着を図る。 ・資料集や教科書の動画を有効に使い、知識の理解・定着につなげるようにする。

算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・当該学年までの既習事項の定着 ・小数や分数のしくみの理解と計算の定着 ・自分の考えを式や図を用いて表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・3展開の習熟度別学習を細分化（TT体制の充実）して、マンツーマン指導を充実させる。 ・ドリルプラネット、eライブラリを授業や家庭学習で利用し、個別課題に応じた習熟を図る。 ・学習教室等で小数や分数の計算、四則計算の習熟、数量関係の問題の習得を図る。 ・毎回の授業で自力解決の時間を十分に確保し、文章や図、式で表現する活動を取り入れる。また、自分の考えを説明する活動も適宜取り入れる。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題を解決する力 ・観察や実験から得られる基本的な知識・技能を活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを確認し、見通しをもたせる。予め個人の考えをもたせ、意見交換や議論から自分の考えを明確化させる。 ・単元の終末では、学習内容をノートや1人1台端末にまとめる活動を取り入れる。その際、さらに調べたいことや疑問についても記入するよう指導し、課題解決のサイクルを構築させる。 ・観察・実験の結果を整理し考察し、絵や図、表などを用いて表現する学習活動を充実させる。 ・動画で学習を振り返ったり、小プリントに取り組んだりする時間を確保し、知識の定着を図る。